

2018年7月5日

煩雑な手書き帳票処理業務をスマート化するクラウド対応
型ソリューション「Smart Data Entry」を提供開始

紙帳票の高精度認識・データ化から業務システムへの出力まで
シームレスな業務プロセスの自動化を支援

富士フイルムグループの富士ゼロックス株式会社（本社:東京都港区、社長:玉井 光一）は、価値提供戦略「[Smart Work Innovation](#)（スマートワーク・イノベーション）」に基づいて開発したクラウド対応サービスとして、紙文書の処理を含むワークフローの整流化と自動化の実現により、企業の働き方改革を支援する「[Smart Data Entry](#)（スマートデータエントリー）」の提供を開始しました。

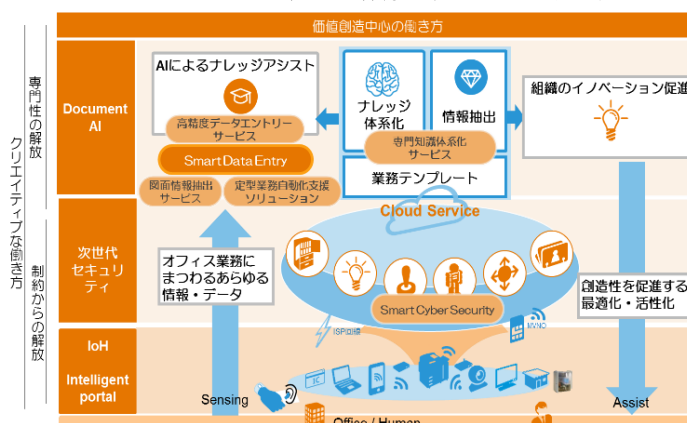
「Smart Data Entry」は、手書き帳票のデータ入力から情報抽出、確認・訂正、データ出力までシームレスな流れを実現し、大量の帳票処理の繰り返し作業から人々を解放するクラウド対応型ソリューションです。[人の視覚情報処理の仕組みを利用した独自の AI 技術](#)の活用によって、氏名、住所など読み取り項目ごとのデータをベースに構築した学習済みモデルを搭載し、単文字としても、つながりのある文字列としても 99.1%^{注1}の高い認識率で読み取ります。基幹システムへの入力作業や帳票データの仕分け作業の時間を低減するほか、人的ミスを防止することができるため、申請・届出受付、調査・アンケートなどの業務でもオフィスにおける創造的な働き方を支援します。また、クラウド環境での利用を可能とし、導入時の初期投資や運用時の管理コストを低減できる点を特長としています。

富士ゼロックスの複合機や、PC 上であたかも紙を扱うような感覚で電子ファイルを管理できるドキュメントハンドリング・ソフトウェア「[DocuWorks（ドキュワークス）](#)」と連携することにより^{注2}、読み取った帳票情報の確認・訂正、データベースなどに出力するまでの効率的な帳票処理を実現します。また、用途に合わせ業務システムに引き渡すために必要な CSV フォーマットに対応しており、後段の業務自動化を実現する各種 RPA（ロボットによる業務自動化）ソリューションなどと組み合わせ、シームレスな業務プロセスを実現します。

企業や官公庁で扱う活字や手書きの各種帳票データの処理業務では、基幹システムへの入力作業や入力した帳票データの仕分け、それら手作業による人的ミス防止のための目視による確認作業といった定型業務に対し、人手と時間を必要としています。生産性と競争力の向上を伴うワークスタイル変革が求められる中、IT の発展により膨大化する情報処理作業の煩雑化が障壁となっています。

富士ゼロックスは、データの入出力の自動化により帳票処理業務のプロセ

Smart Work Innovation 戦略 全体像と本サービスの位置付け



スを効率化する既存のソフトウェア「[ApeosWare Record Link](#)」に加え、「Smart Data Entry」を提供開始することにより、お客様ニーズに対応しオンプレミスおよびクラウドの両環境で利用可能な商品ポートフォリオを強化しました。さらに、「[定型業務自動化支援ソリューション\(RPA 導入支援\)](#)」と組み合わせ、対象業務の選定から最適な RPA システムとの連携、保守運用サービスまでを包括的にサポートします。

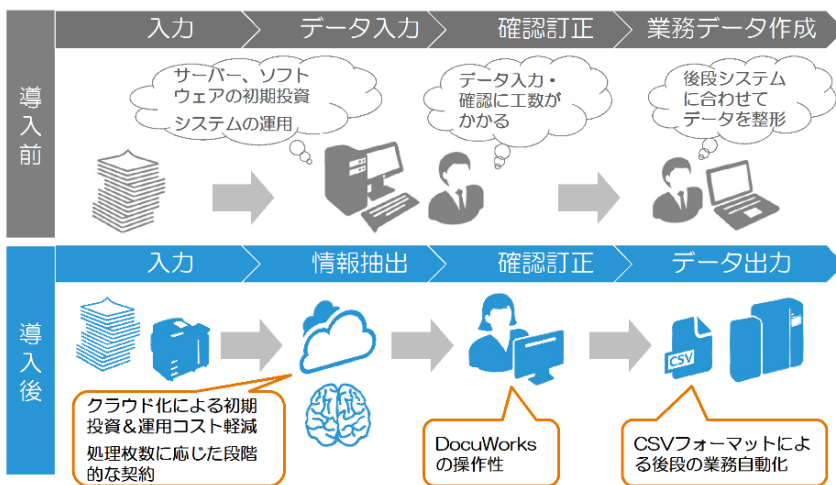
注1：当社実測値

注2：本サービスの機能に必要な DocuWorks のライセンスは付属しません。別途、購入が必要です。

※Smart Work Innovation についての詳細は、下記 URL をご参照ください。

<http://www.fujixerox.co.jp/solution/promotion/innovation/>

【Smart Data Entry が解決するお客様の課題】



【提供価格】

基本サービス 月額 20 万円 (2 ユーザー、2,000 ページ/月まで)

- ・オプション追加 (有償) により 20 ユーザー、30,000 ページ/月まで利用できます。
- ・本サービスの利用には事前に弊社 SE による環境構築 (有償) が必要です。

・Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。